

第13回行政改革推進本部会議(メモ)

出席者

- ・市長 ・助役 ・教育長 ・議会事務局長 ・総務部長 ・市民部長
- ・観光商工部長(商工課長代理) ・上下水道部長 ・企画部長 ・健康福祉環境部長
- ・農林振興部長 ・教育次長 ・消防長 ・萩原振興事務所長 ・小坂振興事務所長
- ・下呂振興事務所長 ・金山振興事務所長 ・馬瀬振興事務所長 ・金山病院事務長
- ・総務課長 ・秘書広報課長
- ・事務局：行革推進室：池戸室長 今井 野村

欠席者：収入役

会議メモ

1. 本部長(市長)あいさつ

- ・27日の馬瀬川花火大会を最後に夏のイベントが終了した。雨天延期や中止などなく、無事終了し、関係者の皆様には大変ご苦労様でした。
- ・行革の成果として、夏まつりのレセプションを1ヶ所にした。効果や意味について検証をして今後につなげたい。

(1) 行政改革推進本部(各部課)の取り組み状況(報告文書に記載されていないものを記録)

取り組み状況の報告にあたっては、行革本部会議の部内報告等の定例的なものは省き、各部局独自の取り組み、特筆すべきものを具体的に発言してほしい。

市民部：収納率向上を目的として、税等(税、保育料、水道料金等)の滞納者に対する市民サービスの制限ができないか検討している。

観光商工部：観光商工部や振興事務所管理課で働きかけたところ、観光協会の事務局が徐々に民間に移りつつある。金山地区では夏のイベントを観光協会が中心になって実施するなどの動きが見られた。

一歩進んだ取り組みとして大いに評価したい。

都市建設部：景観法に基づく例規等の整備について協議を行った。

観光都市「下呂市」として、重要な取り組みである。今後、住民参画も必要であるし、今後の進め方について打ち合わせたい。

企画部長：ISMSの徹底を図るため研修を実施した。対象職員64名中41名が参加した。振興事務所の窓口化に伴い、本課とのスムーズな連絡を図るためテレビ電話の導入を検討している。書類が画面で確認できるくらいのものを求めているが、確認のため防災訓練でも利用するなど、試験運用を重ねていく。

ユニークで画期的な取り組みである。

健康福祉環境部：介護保険制度の大改正に伴い、介護保険担当者を講師にして研修会を開催した。受講者はもちろん、講師にとっても勉強が必要で、最大の効果を上げることができる。

企画部のISMS研修とともに、良い試みであると評価する。このような研修の機会を各部局でも設けていただき、職員のレベルアップを図ってほしい。

教育委員会：保育園の公設民営化については今後も説明責任という観点から住民合意に向け積極的に説明会をしていく。金山地区については、旧金山町職員が市民会館周辺公共施設整備の概要と必要性の説明とともに金山地区の保育園の合併と民営化について説明をした。説明内容以外に各部に関係することがあるので後日連絡する。また、説明会の記録については共有ホルダーにて公開予定である。

特定課題に限らず、職員が直接地域に赴いて説明することは良いことである。今後、市の全域で実施できるよう検討してほしい。

昨日(28日)の保育士に対する説明会では、公設民営という未知のことに対する不安があり、いまいち踏み切れないところがあるようで、絶対ダメだとか、ムリだという雰囲気は感じられなかった。

萩原振興事務所：入り口が5箇所あるので会議等に迷わないよう、案内表示の改善をしている。来客者に腰掛けて待っていただけよう、椅子を準備した。

小坂振興事務所：振興事務所の空室利用として寄付を受けた刀剣の展示スペースとして利用を考えている。

各振興事務所でも空室利用を考えてほしい

力持ち小太郎まつりでは終了後の懇親会を市の行革方針に従って中止したが、特に目立った批判はなかった。

金山振興事務所：8月13日の花火大会において、高齢者の方の花火観覧席として下原小学校の3階特別室を校長及び教頭の協力で開放することができた。高齢者の代表の方には大変喜んでいただき、市に対しても感謝の言葉をいただいた。

市役所という、なにかと「融通がきかない！」というような批判があるが、この例のようにできるだけ対応していただきたい。

馬瀬振興事務所：花火大会は実行委員会のほか、地元の区でも翌日の清掃活動に参加していただくなど、地域住民が協力して実施することができた。またレセプションも開催しなかったが、批判はなかった。

レセプションの市内統一開催については、来年以降も続けたい。

事務所内の環境整備として、ロッカーの上に山野草や花を飾り美化に努めている。

なにかと無味乾燥になりがちな事務所を花で飾るとするのはいいアイデアです。他の部署でも参考にしていきたい。

消防本部：北署小坂分署の初動出動無人化体制は平成18年度に実施するように決定した。

人件費削減と高齢化対策の目的として勸奨退職申し出は積極的に運用していく

消防団は平成18年度4月より、1団に統合することに決定した。

金山病院：病院の経営状況は依然として厳しい。院外処方については、薬剤師の応募がなかった、薬価下落により薬剤部門の赤字の可能性があり、早急に進めたい。現在、薬剤師会と調整中である。

(2) サービス向上委員会の活動状況について

馬瀬振興事務所の取り組みに対して

会議の休憩時間に、冷たいきゅうりやトマトが出た。暑い時期の会議であり、外部からの出席者の方も喜んで見えた。良い心遣いだと感じた。

金山病院：金山病院を検診等で受診された場合、気付いたことは何でも事務長まで教えていただけるようお願いします。また、接遇の基本を学ぶため民間医療機関が主催する研修会に職員を派遣した。

研修会などは積極的に受講し、職員のレベルアップを進めてほしい。

金山振興事務所：8月9日に開催。11名中10名が出席。

サービス向上委員会の設置規程、同委員会正副会長会議会議記録、市長からの提案、市長の「ちょっとした勇氣」を配布し、趣旨を徹底した。

接遇マニュアルは、9月には完成するので、それまでは各委員会ごとに考えて良い接遇に努めていただきたい。

市長より：各部局とも行革へ積極的に取り組んでいただき、ありがたく感じている。私も、現在弔電のあり方を検討している。弔電は経費の割に効果がでていないのかかわからないし、場合によっては売名行為と取られかねない。近いうちに答えを出したいと思う。

(3) 下呂市行政改革の進捗状況について

資料に従い行革推進室より説明

(4) 行政改革分科会の取り組み事項について

諸事業分科会検討結果中間報告について

- ・事務資料に従い行革推進室より説明

同種のイベントは統一するなどの合理化案が提案された。

8月31日に関係課の代表者に集まっていただき、詳細の説明をします。

職場環境分科会検討結果中間報告について

- ・事務資料に基づき行革推進室より説明
- ・職場内のゴミ出しルールの統一について提案がされた。

後日、管財課、振興事務所管理課など関係課に職場環境分科会から詳しい説明をします。

(5) 第1回下呂市職員「職場内研修」の実施状況について

- ・別添資料に基づき行革推進室より説明

(6) 人事関係規則等の制定等について

市長より直接説明

下呂市職員の希望降格制度に関する規則の一部を改正する規則

- ・第3条(希望の申出)における申出の期間を、前年度の2月1日～2月20日から前年度の

11月末日までとして期間を長くしたこと

- ・第5条として、申出があった年度内であっても必要と認めたときは降格もあるということ
- 下呂市職員昇任試験実施要綱について
- ・平成17年度は、課長試験（主幹から課長に昇任する試験）を行う。
 - ・平成18年度からは、課長試験に加え、主幹及び主査試験（課長補佐から主幹、主任から主査に昇任する試験）も行う。

今年度の取り組み

- ・現職課長に対しては配属先ヒアリングのみ実施します。
- ・職員昇任試験は、課長試験（主幹から課長に昇任する試験）のみ実施します。

(7) その他

地方公営企業の経営の総点検について

総務省通知の「地方公共団体における行政改革のための新たな指針の策定について」に基づき、各地方公共団体においては「集中改革プラン」を策定しなければならない。公営企業においても厳しい経営状況を踏まえ、経営基盤強化に向けてより一層の取り組みが必要とされることから、改めて地方公営企業の経営全般について総点検が求められた。

また、公営企業会計だけでなく、独立性が求められる特別会計についても同様である。

助役より

- ・保育園の民営化について

萩原南保育園整備は9月1日に発注し、来年度には完成する。民営化もいよいよ現実味を帯びてくる。金山でも保育園の統合と民営化について職員自ら説明会を開催している。私も西上田地区へ話しに行ったが、保育園民営化という一大事を進める中で感じたのは、地元の職員、今回は旧萩原町職員や、萩原振興事務所長さんをはじめ振興事務所職員の指導力が大切であり、熱意が伝わるようにしなければならないと思う。今後のご協力をお願いしたい。担当課である教育委員会はもちろんであるが、市長の崇高な理想の実現のため、私たち職員は地域住民の要望や利害の調整など、細かい配慮がこれから必要となってくるので、地元の振興事務所をはじめ職員の理解と協力が必要である。

昇任試験に関し質疑

Q：今年度の課長ヒアリングは、昇任試験要綱に基づくものか？

A：違う。現職の課長に配属先を決定する参考とするためにヒアリングするものである。